

第 8 講小テスト

【1】

- 1) ④ 2) ② 3) ① 4) ② 5) ② 6) ③ 7) ③ 8) ③ 9) ① 10) ④
11) ③ 12) ① 13) ④ 14) ③ 15) ③ 16) ② 17) ③ 18) ④ 19) ③ 20) ④
21) ③ 22) ② 23) ② 24) ④ 25) ②

【2】

(1) → He has to finish his homework today.

訳:彼は今日宿題を終えなければなりません。

解説:must と have to はどちらも「～しなければならない」。must は主観的義務、have to は客観的の必要。

(2) → I had to get up early yesterday.

訳:私は昨日早く起きなければならませんでした。

解説:must に過去形はないため、過去の義務は had to を用いる。

(3) → Is she able to speak three languages?

訳:彼女は3か国語を話すことができますか。

解説:can の書き換えは be able to。疑問文では主語に応じて is を使う。

(4) → We were not able to find the key yesterday.

訳:私たちは昨日、その鍵を見つけることができませんでした。

解説:could not は「能力」を表すが、「実際にできなかった」ときは was/were not able to が自然。

(5) → He is going to go to the library tomorrow.

訳:彼は明日図書館へ行く予定です。

解説:be going to は「予定・準備された未来」を表す。will は「意志的未来」。

(6) → Will they visit Kyoto next week?

訳:彼らは来週京都を訪れるでしょうか。

解説:be going to の文を will に直すとき、疑問文では will を文頭に置く。

(7) → Don't eat in this room.

訳:この部屋で食べてはいけません。

解説:must not(禁止)と命令文 Don't ~ は意味が同じ。

(8) → She will be able to solve it soon.

訳:彼女はすぐにそれを解けるようになるでしょう。

解説:can には未来形がないため、未来の能力は will be able to で表す。

(9) → My brother is not able to swim fast.

訳:私の兄は速く泳ぐことができません。

解説:can't の書き換えは be not able to。主語が単数なので is not を使う。

(10) → Does Tom have to clean the classroom today?

訳:トムは今日教室を掃除しなければなりませんか。

解説:have to は一般動詞扱いのため、疑問文では do / does を使う。主語が Tom(3人称単数)のため does。